

令和4年度(2022年度)第2回川口中学校区地域づくり推進会議 議事概要

日時	令和4年(2022年)6月26日(日)9:30~12:00
場所	川口中学校1階 被服室
出席者	参加者：荒井、荒木、稲原、白鳥(信)、高野、田倉、外山、内藤(佳)、内藤(妙)、 内藤(ト)、中尾、中村、古田、前川、山口 高齢者あんしん相談センター川口：小林 高齢者あんしん相談センター恩方：長内 第1層生活支援コーディネーター：今泉 社会福祉協議会：田中 町会・自治会防犯灯担当課長：塩澤 八王子地域 PAL-ETTE：佐藤、中村 川口中学校校長：鷲尾 未来デザイン室：野田、牧瀬 (株)RPI：岩崎、笠原、高尾、伊藤
見学者	八王子未来 CAN-VAS：石井、大学生：瀬谷
配布資料	・令和4年度(2022年度)第2回川口中学校区地域づくり推進会議資料 ・(参考)令和3年度(2021年度)地域づくり推進会議資料 「川口中学校区の将来ビジョンを実現するためのアクションプラン一覧(修正版)」 「川口中学校区のアクションプラン一覧(案)【更新版】」 ・川口中学校区コミュニティカレンダー(令和4年(2022年)7~9月分)

1 開会

未来デザイン室から挨拶。

2 オリエンテーション

会議資料をもとに、令和4年度(2022年度)のゴールと本日の検討事項を確認した。

3 議題

(1) 優先的アクションプランの取組を共有しよう

ア 各部会からの報告

会議資料をもとに、これまでの部会活動について部会ごとに情報共有し、その後、全体発表を行った。全体への報告概要は以下のとおり。

<コミュニティカレンダーづくり>

- ・ これまでの活動は3回。6月4日から3週連続(各1時間ずつ)で川口事務所を会場に実施。
- ・ 1回目に司会と情報収集の担当者を決定。書記は回ごとに参加者のなかで選出。
- ・ 第1号を7月に発行(7~9月分)。学校や町会の回覧板、市民センター窓口等で配布。
- ・ 参加者間の情報共有はLINE(一部参加者はメール)。
- ・ 今後の開催は未定。取り組んでみて「部会として集まる場」、「作成の体制づくり」、「印刷等にかかる費用負担」、「町会イベントに会員以外の参加者が増えることへの懸念」、「効果的な発信方法の検討」などが今後の課題として認識している。

< マルシェの開催 >

- ・ 11月5・6日の住民協議会主催で開催する「川口やまゆり館まつり」と協働して実施。
- ・ 開催に当たり、住民協議会との調整に向けた打ち合わせに部会代表者が参加。
- ・ 現在は、これまでの参加団体に出店移行の確認を行っている。今後も継続して実施するためには、既存の活動や団体を尊重し、マルシェとしての取組を地域に受け入れてもらう必要がある。
- ・ 情報共有はLINEとメール。
- ・ 印刷物や封筒等の費用は、市または住民協議会の費用で賄っている。今後の継続性や担い手を確保するためにも、費用の受け皿が必要と感じている。

イ 優先的アクションプランの実施目的の再確認

会議資料をもとに、各部会の報告内容を踏まえ、「コミュニティカレンダーづくり」「マルシェの開催」が目指す優先的アクションプラン「プラットフォームづくり」の実現を見据えて取り組んでいることを確認。今後の展開についても、「プラットフォームづくり」を意識して検討していくことを全体で共有した。

ウ 意見交換

会議資料をもとに、部会運営について意見交換を行った。主な意見交換内容は以下のとおり。

< 主な意見交換内容 >

- ・ マルシェ開催について、今後も住民協議会の「川口やまゆり館まつり」と協働して実施するのであれば、マルシェ部会は住民協議会に設置すればよい。拠点・人・お金をどう配置するか考えていく必要がある。

昨年度から検討していること。人の配置も暫定的ではあるが、組織図も計画に記載されている。市では、どのような形で検討しているのか。(参加者)

市では、地域づくりの制度設計を進めているところである。地域づくりの取組の趣旨を踏まえると、すべての地域にあった一律の制度を設定することが適切かどうかといった面もある。現在、令和5年度(2023年度)の予算要求に向けて検討を進めているが、自主・自立的に活動できる組織にすることが重要と考えている。そのためには、市として考える地域づくりの方向性を地域づくり推進会議にお伝えする必要がある。現在は、9月頃を予定としている。地域づくり推進会議では、それまでに検討できる内容を先んじて進めていただきたい。(未来デザイン室)

今年度は、自主・自立的な組織を目指して検討していくということか。(参加者)

そうである。また、御指摘をいただいた予算については、今年度の活動実績に基づき、来年度の予算を要求していくため、どのような活動に予算が必要なのかの整理をお願いしたい。(未来デザイン室)

現在行っている活動をボランティアで行うには無理がある。カレンダーづくりの外部委託や、周知のためのHPの作成等、今後活動を継続するための要望を予算に入れることは可能か。(参加者)

予算が措置されるかは、当室で決定できる訳ではないが、できる限り希望に添えるよう要求していきたいと考えている。(未来デザイン室)

- ・ 檜原中学校区と川口中学校区を一体でコミュニティを醸成するべきではないか。川口中学校区のみでは、川口地区としてのコミュニティの醸成は難しい。
- ・ 地域づくり推進会議に予算措置されていないことが問題。当面は、社会福祉協議会の補助金を活用しても良いのではないか。
- ・ 予定の活動に対する予算を要求し、予算がつかなければ活動はできない。大きな要求ではなく、最低限必要なものに対する保証がほしい。

先ほども説明をさせていただいたとおり、予算措置の確約はできない。よって、活動についても予算

- 措置がされた場合、さらに活動がプラスしてできる程度でお考えいただきたい。(未来デザイン室)
- ・ コミュニティカレンダーの更新が必要であることを踏まえると、紙以外の定期的に更新できる仕組みや人員体制づくりが必要。
- 本件については、今後も皆様から御意見をいただきながら検討していきたい。(未来デザイン室)

(2) その他のアクションプランを考えよう

ア 令和3年度の振り返り

会議資料をもとに、地域づくり推進計画の内容とその策定までの経緯を確認した。

イ 共通テーマの追加説明

会議資料をもとに、アクションプランを検討する際の共通テーマとして、「公共施設再編」「地域防災」「カーボンニュートラル」「DX」の視点も含め検討していく旨の説明を行った。

ウ アクションプランの分類

会議資料をもとに、アクションプランの取組分野について、緊急度・重要度などをもとに、令和8年度(2026年度)までに実行するのが難しいと思うこと、行政の協力・実施が不可欠であり、住民主体での実施は難しいことについて、分類・振り分けをしたいことを説明。主な意見交換内容は以下のとおり。

<主な意見交換内容>

- ・ 取組分野について、地域でできることと、行政として行うことがある。行政側のビジョンがあったうえで地域ができることを考える方がわかりやすい。6つの分野の取組内容について、行政が考えていることを教えてほしい。

昨年度に策定した地域づくり推進計画では、「地域の将来ビジョン」を決定している。今回は、この将来ビジョンを実現するための取組について、検討いただきたい。(未来デザイン室)

- ・ 交通利便性の向上には、公共交通機関が関係するので、市民だけで考えるのは難しい。市民だけでできないことは、すぐに実行するのは難しいのではないか。

今回の分類・振り分けは、そういった視点で検討いただきたい。(未来デザイン室)

「川口福寿草の会」は、八王子市から補助金を受けながら、有償ボランティアで高齢者の移動支援を実施している。(参加者)

どの分野も地域で取り組めることはあるのではないか。(RPI)

- ・ 何をやるにも参加者だけでは難しく、地域の担い手の育成が重要ではないか。

優先順位をつけても、「誰がやるの」という問題になる。順位付けよりも、根幹の問題解決を考えることに時間を使いたい。(参加者)

担い手の育成なくしては、他の分野が動かないという認識でよいか。(未来デザイン室)

地域づくり推進会議は会議の出席者だけで行うものではない。それぞれの団体の中にいる人をどう巻き込んでいくのが課題と感じている。代表だけに負担がかかる体制ではなく、どのような仕組みがあれば地域のなかで負担なく支え合えるのか、そのための仕組みを検討いただきたい。(未来デザイン室)

所属団体を維持していただくだけでも難しい状況。役員は他の団体も兼務している方が多い。担い手を既存の団体の中から探すことは難しいのではないか。(参加者)

地域づくりを行う会社に近い組織ができれば、その中で担い手の育成もできて、活動を回していくこともできるのではないか。(参加者)

担い手の育成が重要ということであれば、それを軸にして今後検討を進めていきたい。(未来デザイン室)

- ・ 共通テーマの公共施設再編について、前回学校の再編成という話があったが、いつまでに再編する、という目標はあるのか。
学校再編のプロセスとしては8年程度かかる。学校再編は様々な分野に関わる問題なので、地域としてのベストな形を行政だけではなく、地域と一緒に考えていく。そのための意見交換も含めて、地域づくり推進会議では行っていきたい。(未来デザイン室)
- ・ 「川口中学校は新しく立て直すことはしない」という話を聞いている。本当か。
立て直しや改築については、基本的に建物の耐力度調査をもとに決定する。川口はまだ調査前であり、調査の結果をもとに建て替えの有無を判断していくことが一般的である。(未来デザイン室)
- ・ 川口地区の公共施設再編に関する計画をしっかりと出してほしい。
現時点では、細部までを決定しているわけではなく、説明することも難しい。だからこそ、今後も地域と一緒に検討していくため、共通テーマとしてお示しをさせていただいた。(未来デザイン室)
- ・ 行政にできること、できないことを明確にし、スピード感を持って取り組んでほしい。
本件については、今後も皆様から御意見をいただきながら検討していきたい。(未来デザイン室)

(3) 部会と推進会議の調整について

会議資料をもとに、全体会の運営のための調整や 部会の進行管理・調整を行う「運営担当」を設置する旨の提案を事務局より行った。その結果、運営担当は各部会から2名ずつ選出して構成することとし、人選は、第3回地域づくり推進会議で行うことで決定した。主な意見交換内容は以下のとおり。

<主な意見交換内容>

- ・ 今後、2つのアクションプラン以外の動きもありえる。全体の運営を考える組織は、部会とは切り離れた方が良いのではないか。
一旦は、各部会のとりまとめ、連携をとる組織というイメージ。今後は会議のテーマ設定を運営担当と調整しながら進めていく事で、市主導から地域主導へ移行するために必要な体制を合わせて検討していきたい。(未来デザイン室)
- ・ コミュニティカレンダーとマルシェでは開催頻度も異なる。部会ごとに一度意見をまとめた上で考えた方が良いのではないか。
運営担当の役割は暫定的であり、状況を見ながら役員会の設置を検討していきたい。運営担当は、全体会の前後に集まることを想定している。(未来デザイン室)
- ・ マルシェ部会からはコミュニティカレンダー部会にも参加しており、個別の連絡体制もある程度できている。
連絡調整が既にできているということであれば、全体会の議題や運営についての検討を主としてお願いしたい。(未来デザイン室)
- ・ 全体会の運営に、部会ごとの意見を落とし込みながら進めていけるのであれば、よいのではないか。
- ・ 運営担当は設置することとし、その人選は、第3回地域づくり推進会議で行うことで良いか。(未来デザイン室)

異議なし(参加者)

(4) カルテ及び推進計画の発信について

会議資料をもとに、参加者が属する団体の HP へのリンク設定や、SNS での情報発信を行っていただきたいこと、第3回地域づくり推進会議において、発信した際に生じた課題などについて意見交換を行う予定である旨を説明した。主な意見交換内容は以下のとおり。

< 主な意見交換内容 >

- ・ 情報を活用する際、著作権関係の規定はあるのか。
特に規定は設けていない。(未来デザイン室)

閉会

第3回地域づくり推進会議の開催日程等の確認と新たな地域づくり推進会議参加者の追加について提案があり、準備が整い次第、参加していただくことで同意した。

第3回: 令和4年(2022年)7月24日(日)9:30~12:00 川口中学校1階 被服室(予定)

以上